

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

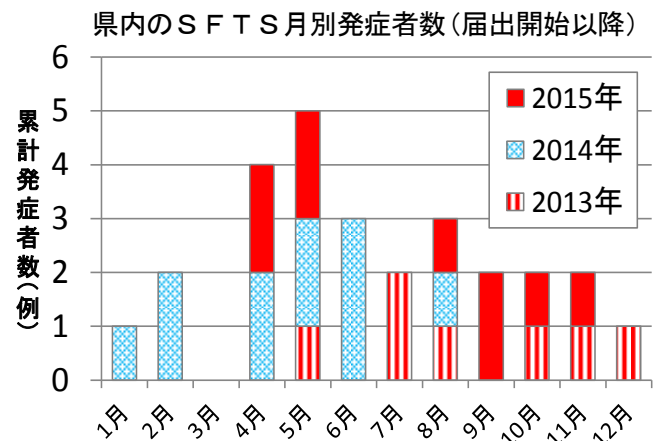
## 宮崎県第49週の発生動向

### トピックス

・重症熱性血小板減少症候群(SFTS) (全数報告の感染症) の届出が延岡保健所管内で1例あった。県内での報告は今年9例目、累計28例目となった。患者は60歳代女性で、11月下旬に発症した。海外渡航歴はなかった。

県内のSFTSの年齢別報告数(例)  
(届出開始前の1例含む)

30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	8	6	9	1



### 全数報告の感染症 (49週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。
- 2類感染症：結核8例。
- 3類感染症：報告なし。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例、つつが虫病7例、レジオネラ症1例。
- 5類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	男	肺結核	症状なし
			50歳代	女	肺結核	咳、胸痛
			60歳代	女	肺結核	症状なし
			80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
			80歳代	女	結核性胸膜炎	咳、発熱
			80歳代	女	肺結核	咳、痰、呼吸困難
		延岡	50歳代	男	肺結核	症状なし
		日南	60歳代	男	疑似症患者	咳、痰
4類	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	延岡	60歳代	女	—	発熱、頭痛、嘔吐、食欲不振、全身倦怠感、血小板・白血球減少、刺し口
	つつが虫病	宮崎市	70歳代	女	—	刺し口、リンパ節腫脹、発疹
		都城	80歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口
		日南	30歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
			60歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
		小林	70歳代	女	—	刺し口、発疹
		高鍋	80歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
			80歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
レジオネラ症	宮崎市	60歳代	男	肺炎型	発熱、呼吸困難、肺炎	

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は778人（定点当たり24.8）で、前週比108%と増加した。前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は水痘と流行性耳下腺炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【RSウイルス感染症】

・報告数は61人（1.7）で、前週比210%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*（1.2）の約1.5倍であった。年齢別では1歳が全体の約半数を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

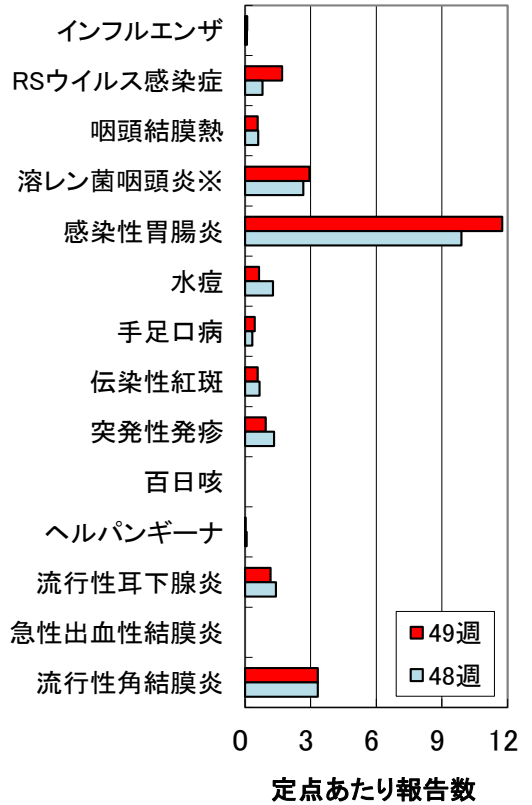
・報告数は106人（2.9）で、前週比110%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*（2.5）の約1.2倍であった。年齢別では3～5歳が全体の約半数を占めた。

【感染性胃腸炎】

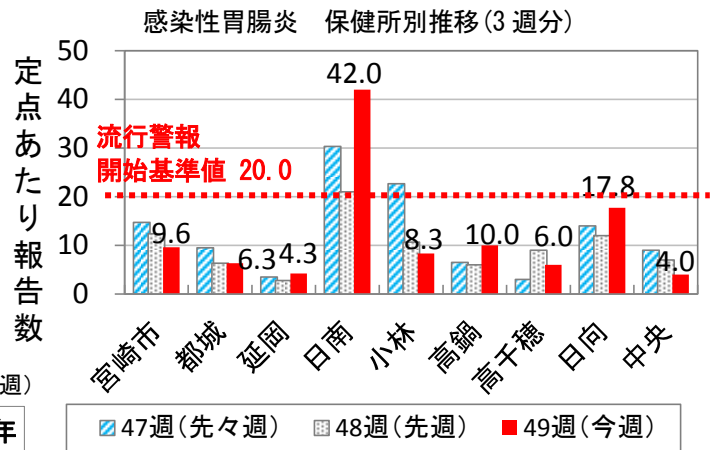
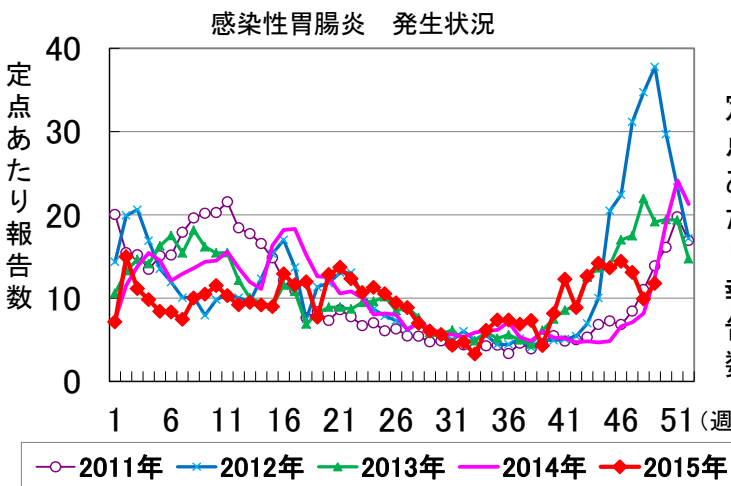
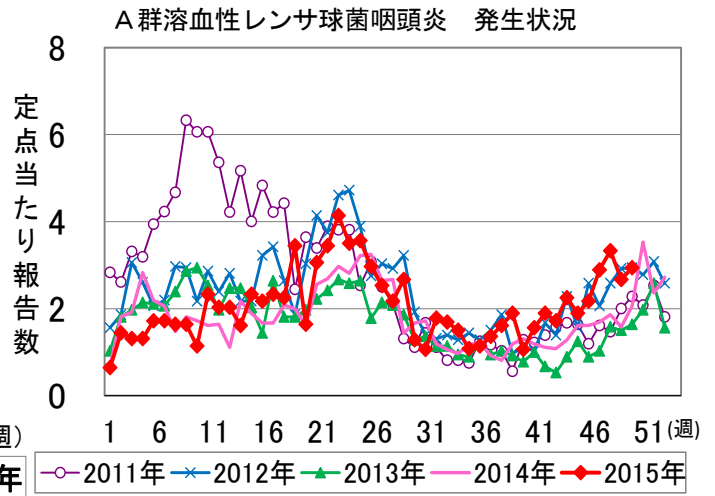
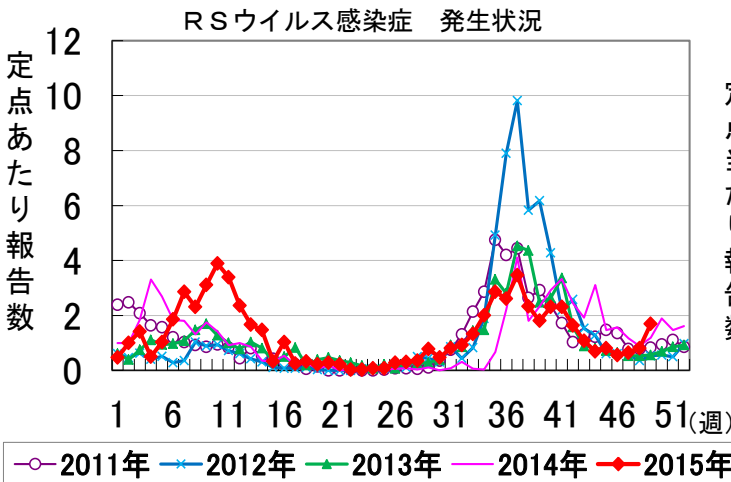
・報告数は423人（11.8）で、前週比119%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*（20.2）の約0.6倍であった。日南（42.0）保健所からの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約4割を占めた。

\*過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値。

《前週との比較》

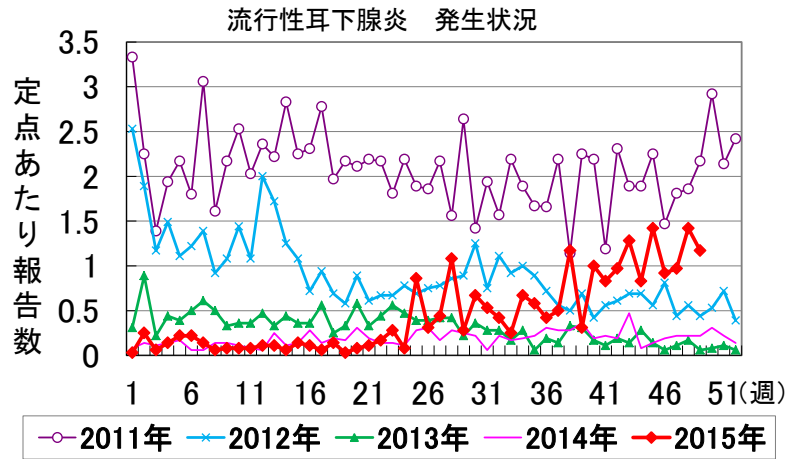


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



【流行性耳下腺炎】

・報告数は42人(1.2)で、前週比82%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値\*(1.1)の約1.1倍であった。年齢別では4歳が全体の約3割を占めた。



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：宮崎市保健所から4例報告があった。1～4歳が2例、5～9歳が1例、10歳代が1例で、いずれも咽頭ぬぐい液から *Mycoplasma pneumoniae* が検出された。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患	※流行警報レベル開始基準値※
日南	感染性胃腸炎(42.0)	・感染性胃腸炎(20.0)
小林	流行性耳下腺炎(4.0)	※流行注意報レベル基準値※
日向	流行性耳下腺炎(3.5)	・流行性耳下腺炎(3.0)

📌 全国第48週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第48週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	287例				
3類感染症	細菌性赤痢	1例	腸管出血性大腸菌感染症	24例		
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	2例	エキノкокクス症	1例
	つつが虫病	33例	デング熱	5例	レジオネラ症	25例
5類感染症	アメーバ赤痢	8例	ウイルス性肝炎	8例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	15例
	急性脳炎	2例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例
	後天性免疫不全症候群	15例	ジアルジア症	1例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例
	侵襲性肺炎球菌感染症	23例	水痘(入院例)	3例	梅毒	45例
	播種性クリプトкокクス症	1例	破傷風	1例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1例
	風しん	2例	麻しん	2例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比91%と減少した。前週と比較して増加した主な疾患は流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎であった。

R Sウイルス感染症の報告数は6,598人(2.1)で前週比99%と横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\*(1.3)の約1.6倍であった。鳥取県(8.2)、福井県(6.7)、香川県(5.6)からの報告が多く、年齢別では6ヵ月～1歳が全体の約半数を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は7,353人(2.4)で前週比85%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(2.0)の約1.2倍であった。山形県(4.8)、岩手県(4.7)、鳥取県(4.4)からの報告が多く年齢別では4～6歳が全体の約4割を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第49週(11月30日～12月6日)

疾病名		第48週	第49週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	5	6		1			1	4			
	定点あたり	0.08	0.10	0.00	0.10	0.00	0.00	0.20	0.67	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	29	61	13	1	9	11		19		7	1
	定点あたり	0.81	1.69	1.30	0.17	2.25	3.67	0.00	4.75	0.00	1.75	1.00
咽頭結膜熱	報告数	22	21	4	2	2	4		1		8	
	定点あたり	0.61	0.58	0.40	0.33	0.50	1.33	0.00	0.25	0.00	2.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	96	106	13	14	21	19	1	7		31	
	定点あたり	2.67	2.94	1.30	2.33	5.25	6.33	0.33	1.75	0.00	7.75	0.00
感染性胃腸炎	報告数	356	423	96	38	17	126	25	40	6	71	4
	定点あたり	9.89	11.75	9.60	6.33	4.25	42.00	8.33	10.00	6.00	17.75	4.00
水痘	報告数	46	23	16	2	2	1		2			
	定点あたり	1.28	0.64	1.60	0.33	0.50	0.33	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	12	16	8	3	3					2	
	定点あたり	0.33	0.44	0.80	0.50	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
伝染性紅斑	報告数	24	21	7	5	7		1			1	
	定点あたり	0.67	0.58	0.70	0.83	1.75	0.00	0.33	0.00	0.00	0.25	0.00
突発性発しん	報告数	48	34	9	4	8	1	1	6		4	1
	定点あたり	1.33	0.94	0.90	0.67	2.00	0.33	0.33	1.50	0.00	1.00	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	3	1	1								
	定点あたり	0.08	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	51	42		6	10		12			14	
	定点あたり	1.42	1.17	0.00	1.00	2.50	0.00	4.00	0.00	0.00	3.50	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	20	20	14	6							
	定点あたり	3.33	3.33	4.67	3.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	2	4	4								
	定点あたり	0.29	0.57	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～49週)

2類感染症	結核	199例(8)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	110例				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	9例(1)
	つつが虫病	39例(7)	デング熱	1例	日本紅斑熱	9例
	マラリア	1例	レジオネラ症	5例(1)	レプトスピラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例
	急性脳炎	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例
	後天性免疫不全症候群	15例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	6例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	4例	播種性クリプトコックス症	3例
	破傷風	8例				

( )内は今週届出分、再掲